

FUKU! SOBA

No.2

福井県産ソバの『高単収』を目指して!!

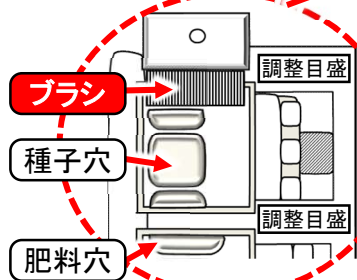
ソバは湿害に非常に弱い作物であり、圃場の排水性を向上させることが収量アップにつながります。梅雨が明けた後、できるだけ早く溝(額縁排水溝+中溝)を施工し、播種までは圃場を乾かしましょう。麦跡の溝を再利用する場合も、大雨等で溝の崩れ等がありますので溝の再施工を行いましょう。また、暗渠がある場合、播種前に補助暗渠(サブソイラ等)を再施工することでさらに排水性が高まるので、積極的に施工しましょう。

1. 播種作業

- 極端な早播き(7月中旬頃)は生育が旺盛になり倒伏や結実率が低下するなどリスクが高まります。
- 天気の様子を見ながら、適期(8月上旬～中旬)に播種できるよう、播種準備を行いましょう。
- 播種量の目安は、条播で4～5kg/10a。耕耘と播種は同一日に行いましょう。

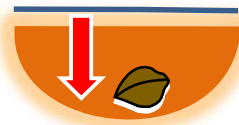
①播種機の点検

- 播種機のブラシを確認。摩耗や変形している場合は播種量が不安定になります。ブラシを交換しましょう。



②適正播種

- 播種深さの確認(播種深度は3cm)



③播種後は排水溝の手直し

- 播種作業で崩れた排水溝は、直ぐに手直し!



2. 帰化アサガオ対策

圃場でアサガオの葉や花を見かけたら、すぐに根こそぎ除去しましょう! そば圃場内は手取り除草(圃場内で使える除草剤がありません。)畦畔での防除が特に重要! 畦畔での防除を計画に行いましょう。



「ソバの圃場に侵入した帰化アサガオ」

帰化アサガオの特徴

- 一株で多数の種子をつける。
- 種子は一度に発芽せず何年も残る。
- 水田状態でも種子は残存する。



特に花を見つけたらすぐ除草! 開花後、約2週間経過すると刈り取っても種子ができます。

【使用除草剤名】 バスタ液剤またはザクサ液剤